# 33 起動条件について

33.1	起動条件とは?	33-2
33.2	起動条件の内容を編集するには	33-35
33.3	起動条件を削除するには	33-37
33.4	1 つの起動条件で複数のデータ転送 / アクションを順次実行させたい!…	33-38
33.5	複数の起動条件でアクションを実行させたい!	

## 33.1 起動条件とは?

『Pro-Server EX』では、データ転送やアクションなどの動作を、いろいろなタイミングや周期で行う ことができます。そのタイミングや周期を「起動条件」と呼びます。

起動条件は、複数設定することができますので、新規に設定することはもちろん、既存の起動条件を 組み合わせて使用することもできます。



『Pro-Server EX』で設定する「起動条件」の設定内容には、以下の種類があります。

< アクションの場合 >



#### 起動条件の種類

データ転送 / アクションのタイミングや周期を設定します。 『Pro-Server EX』では、12 種類 (GP シリーズ局の場合は 8 種類)の起動条件が用意されています。

(学「33.1.1 起動条件の種類は?」

アクションが受け取るデータ(アクション)

起動条件が有効になった場合に、転送元局から転送するデバイスデータや定数値などを設定します。

<sup>③デ</sup>「33.1.2 アクションが受け取るデータとは?」

アクション動作局 / 実行通知(アクション)

設定したアクションが動作する参加局(通常はパソコン)を設定します。また、アクションが実行された場合、通知先を設定することにより、アクションの実行を通知(ビット on)させることもできます。

(学「33.1.3 動作局とは?」

転送元 / 転送先デバイス (データ転送) 起動条件が有効になった場合に、データの転送元および転送先となるデバイスを設定します。

<sup>② 「</sup>19.1.1 データを配信したい」

<sup>②予</sup>「19.1.2 データを収集したい」

起動条件は通常、データ転送 / アクション設定の過程で設定しますが、アクション / データ転送設定 と独立して個別に設定することもできますので、起動条件を個別に複数登録しておき、次のステップ で別の起動条件に変更したり、組み合わせたりすることができます。

その結果、1つの起動条件で複数のデータ転送 / アクションを動作させたり、複数の起動条件で1つのアクションを実行させたりすることが容易に行えます。



1つの起動条件で複数のデータ転送/アクションを実行!

複数の起動条件で1つのアクションを実行!



MEMO ・ データ転送については、複数の起動条件を設定することはできません。

#### 33.1.1 起動条件の種類は?

『Pro-Studio EX』では、下記のような起動条件を設定することができます。

起動条件	内容
電源投入時	転送元局の電源が OFF から ON にされたとき、一度だけ実行しま す。
指定時刻	設定した時刻がきたとき、一度だけ実行します。
一定周期	設定した周期で実行します。
デバイス変化時	指定したシンボルのデバイスデータが変化したときに実行します。
デバイス ON 中 /OFF 中	指定したシンボルのデバイスが ON 中、または OFF 中に実行しま す。実行する期間やチェック周期を設定することもできます。
デバイス ON 時 /OFF 時	指定したシンボルのデバイスが OFF から ON になったとき、または ON から OFF になった時に実行します。実行する期間やチェック周 期を設定することもできます。
条件式成立中 / 成立時 (参加局が GP シリーズ局以 外の場合)	2 個のデバイス間で、設定した条件式が成立(例:デバイス A とデ バイス B のデータが同じ値)したときに実行します。実行する期間 やチェック周期を設定することもできます。
相手局電源投入時 / 切断時 (参加局が GP シリーズ局以 外の場合)	指定した相手局の電源が OFF から ON されたとき、または ON から OFF にされたとき、一度だけ実行します。実行する期間やチェック 周期を設定することもできます。

#### 電源投入時

転送元局の電源が OFF から ON にされたとき、一度だけ実行します。

MEMO	•	下記の場合にも実行されます。
------	---	----------------

- 『Pro-Server EX』が起動されロードされたとき
- ネットワークプロジェクトファイルがリロードされたとき
- 転送元局がオフラインからオンラインに移行したとき

条件1					
起動条件を打	皆定してください。				
L.	電源投入時		デバイスON中	N	条件式成立中
Ü	指定時刻	<b>E</b>	デバイスOFF中	1	条件式成立時
٥	一定周期		デバイスON時		相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	*	相手局電源切断時
			詳細設定		OK キャンセル

設定項目	設定内容		
設定する項目はありません。			
詳細設定	「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法を設定 します。 詳細については「 「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。		

### 指定時刻

設定した時刻がきたとき、一度だけ実行します。

条件1   起動条件を	指定してください。					
R	電源投入時		デバイスON中			条件式成立中
G	指定時刻		デバイスOFF中	<b>%</b>		条件式成立時
0	一定周期		デバイスON時		相手	局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	影	相手	局電源切断時
指词	2時刻 0 二 時	0 <u>;</u> 分				
			詳細設定		ЭК	キャンセル

設定項目	設定内容			
指定時刻	実行時刻を設定します。			
詳細設定	「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法を設 定します。 詳細については「 「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。			

一定周期

設定した周期で実行します。

実行する期間を設定することもできます。

条件1					
起動条件を指決	定してください。				
.55	電源投入時		デバイスON中	N	条件式成立中
Ġ	指定時刻		デバイスOFF中		条件式成立時
	一定周期		デバイスON時		相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	*	相手局電源切断時
周期 「期間限定 「一」時	月 500 <u></u> m	s 一一時	<u>□</u> - <b>-</b>		
			=¥¢m=ル-	1	0K   Prix Pri
			言中が世話文定		**721

設定項目	設定内容
周期	実行周期(ms)を設定します。 0 ~ 86400000(24 時間)の範囲で設定できます。
期間限定	実行期間を限定する場合にチェックし、実行期間(時/分)を設定します。
詳細設定	「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法を設定 します。 詳細については「 「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。

デバイス変化時

指定したシンボルのデバイス値が変化したときに実行します。 実行する期間やチェック周期を設定することもできます。

条件1					
起動条件を打	皆定してください。				
5	電源投入時		デバイスON中		条件式成立中
Ġ	指定時刻		デバイスOFF中	1	条件式成立時
۸	一定周期		デバイスON時		相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	*	相手局電源切断時
機器名					
#INTERNAL	-	•			
デバイスアドレ	<i>کر</i>				
データタイプ	16ドット(符号付き)				
5 5515	1				
□ 期間限第	Ē			チェッ	ク周期 🔲 常時
時	□ <u>∃</u> 分~ □	0 🕂 時	0 <u>+</u> 分		500 <u> </u>
			詳細設定		OK キャンセル

設定項目 設定内容						
機器名 対象となるデバイスを持つ機器名を選択します。						
	対象となるデバイスアドレスまたはシンボルを設定します。					
	• テハイスアトレスを指定9 る場合 電卓アイコンから直接入力します。					
	電卓アイコン					
デバイスアドレス						
	<ul> <li>シンボルを指定する場合</li> <li>リストボタンをクリックしてシンボルを選択します。</li> </ul>					
	リストボタン					

設定項目	設定内容				
データタイプ	<ul> <li>デバイスアドレス指定時 データタイプを指定します。</li> <li>データタイプを指定します。</li> <li>データタイプを指定します。</li> <li>第選択に戻す</li> <li>16ビット(符号付き) 32ビット(符号付き) ビット</li> <li>16ビット(符号無し) 32ビット(符号無し) 単精度浮動小数点</li> <li>16ビット(16進) 32ビット(16進) 倍精度浮動小数点</li> <li>16ビット(16) 32ビット(16) 文字列</li> <li>シンボル指定時 データタイプが自動的に表示されます。</li> </ul>				
期間限定	実行期間を限定する場合にチェックし、実行期間(時/分)を設定します。				
チェック周期	<ul> <li>デバイスデータの変化をチェックする周期(ms)を設定します。</li> <li>0~86400000(24時間)の範囲で設定できます。</li> <li>常時チェックする場合は、[常時]をチェックします。</li> <li>MEMO</li> <li>1つの参加局で、チェック周期を[常時]に設定している起動条件が多い場合、システム全体のパフォーマンスが低下するおそれがあります。</li> </ul>				
詳細設定	「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法を設定し ます。 詳細については「 「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。				

## デバイス ON 中

指定したシンボルのデバイスが ON 中に実行します。 実行する期間やチェック周期を設定することもできます。

条件1	kantal an (dilar).				
起動条件を打	音定していたさい。 一番酒切りゅう		≓17(70NH)		冬休式成立由
	电标及八时		デバイスOFF中		条件式成立時
<u> </u>	一定周期		デバイスON時		相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	<u>**</u>	相手局電源切断時
機器名					
#INTERNAL		•			
データタイプ	16ビット(符号付き)				
□ 期間限3 □ — 時	≢ ┃ <u>□</u> ⇒ ☆~ ┃	0 <u>;</u> 時	<u> 『</u> 分	チェック暦 500	期 □ 常時 Ξ ms
			詳細設定	ОК	キャンセル

設定項目	設定内容			
機器名	対象となるデバイスを持つ機器名を選択します。			
	対象となるデバイスアドレスまたはシンボルを設定します。 ・ デバイスアドレスを指定する場合 電卓アイコンから直接入力します。			
デバイスアドレス	<ul> <li>電卓アイコン</li> <li>・ シンボルを指定する場合</li> <li>リストボタンをクリックしてシンボルを選択します。</li> </ul>			
	リストボタン			
データタイプ	<ul> <li>デバイスアドレス指定時 データタイプを指定します。</li> <li>データタイプを指定します。</li> <li>データタイプを指定します。</li> <li>* 第2世ット(符号付き) ビット         16ビット(符号付き) ビット         16ビット(符号有き) ビット         16ビット(符号有き) ビット         16ビット(符号無し) 単精度浮動小数点         16ビット(16道) 32ビット(6通) 倍精度浮動小数点         16ビット(16道) 32ビット(16道) 倍精度浮動小数点         16ビット(16) 32ビット(16) 文字列     </li> <li>シンボル指定時</li> <li>データタイプが自動的に表示されます。</li> </ul>			
期間限定	実行期間を限定する場合にチェックし、実行期間(時/分)を設定しま す。			
チェック周期	<ul> <li>デバイスの状態をチェックする周期(ms)を設定します。</li> <li>0~86400000(24時間)の範囲で設定できます。</li> <li>常時チェックする場合は、[常時]をチェックします。</li> <li>MEMO</li> <li>1つの参加局で、チェック周期を[常時]に設定している起動条件が多い場合、システム全体のパフォーマンスが低下するおそれがあります。</li> </ul>			
詳細設定	「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法を設 定します。 詳細については「 「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。			

デバイス OFF 中

指定したシンボルのデバイスが OFF 中に実行します。 実行する期間やチェック周期を設定することもできます。

条件1					
起動条件を	指定してください。				
5	電源投入時		デバイスON中		条件式成立中
Ġ	指定時刻		デバイスOFF中		条件式成立時
0	一定周期		デバイスON時	<b>1</b>	相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	*	相手局電源切断時
捕捉男人					
1868-0	AL	•			
รีมีประการ					
データタイプ	<ul> <li>16ビット(符号付き)</li> </ul>				
5 5515	poestation				
□ 期間限	定			チェックル	周期 🔲 常時
0 🕂 時	き  □	0 🕂 時	分	50	0 : ms
			詳細設定	0	K キャンセル

設定項目	設定内容			
機器名	対象となるデバイスを持つ機器名を選択します。			
	対象となるデバイスアドレスまたはシンボルを設定します。 • デバイスアドレスを指定する場合			
	電卓アイコンから直接入力します。			
デバイスアドレス	リストボタン			
	<ul> <li>シンボルを指定する場合</li> <li>リストボタンをクリックしてシンボルを選択します。</li> </ul>			
	電卓アイコン () () () () () () () () () ()			

設定項目	設定内容				
データタイプ	<ul> <li>デバイスアドレス指定時 データタイプを指定します。</li> <li>データタイプを指定します。</li> <li>データタイプを指定します。     <li>第2ビット(符号付き) ビット     <li>16ビット(符号付き) 32ビット(符号付き) ビット     <li>16ビット(符号無し) 43ビット(符号無し) 単精度浮動小数点</li> <li>16ビット(16進) 32ビット(16進) 倍精度浮動小数点</li> <li>16ビット(16) 32ビット(16) 文字列</li> </li></li></li></ul>				
期間限定	テーダダイブが自動的に表示されよ9。 実行期間を限定する場合にチェックし、実行期間(時/分)を設定しま				
舟川町内区た	す。				
チェック周期	<ul> <li>デバイスの状態をチェックする周期(ms)を設定します。</li> <li>0~86400000(24時間)の範囲で設定できます。</li> <li>常時チェックする場合は、[常時]をチェックします。</li> <li>MEMO</li> <li>1つの参加局で、チェック周期を[常時]に設定している起動条件が多</li> </ul>				
	い場合、システム全体のバフォーマンスか低下するおそれがあります。				
詳細設定	「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法を設 定します。 詳細については「 「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。				

デバイス ON 時

指定したシンボルのデバイスが OFF から ON になったときに実行します。 実行する期間やチェック周期を設定することもできます。

条件1					
起動条件を	指定してください。				
35	電源投入時		デバイスON中	N	条件式成立中
Ġ	指定時刻		デバイスOFF中		条件式成立時
0	一定周期		デバイスON時	<b>#</b>	相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	-	相手局電源切断時
デバイスアド 	レス 16ビット(符号付き)	<b>_</b>			
□ 期間限 □ <u></u> 時	定 「 <u>」</u> 分~「	0 <u>;</u> 時	□==分	€17	ク周期 🗌 常時 500 <u></u> ms
			詳細設定		OK キャンセル

設定項目	設定内容
機器名	対象となるデバイスを持つ機器名を選択します。
	対象となるデバイスアドレスまたはシンボルを設定します。 • デバイスアドレスを指定する場合 電卓アイコンから直接入力します。
デバイスアドレス	<ul> <li>電卓アイコン</li> <li>●</li> <li></li></ul>
	リストボタンをクリックしてシンボルを選択します。 <sup>リストボタン</sup>

設定項目	設定内容					
データタイプ	<ul> <li>デバイスアドレス指定時 データタイプを指定します。</li> <li>データタイプを指定します。</li> <li>未選択(に戻す 16ビット(符号付ぎ) 32ビット(符号付ぎ) ビット 16ビット(符号無し) 32ビット(符号無し) 単精度浮動小数点 16ビット(16進) 32ビット(16進) 倍精度浮動小数点 16ビット(16) 32ビット(16) 文字列</li> </ul>					
	<ul> <li>シンボル指定時</li> <li>データタイプが自動的に表示されます。</li> </ul>					
処理後、指定デバイス アドレスを OFF にす る。	処理終了後、対象となるデバイスまたはシンボルを OFF にする場合に チェックします。					
期間限定	実行期間を限定する場合にチェックし、実行期間(時/分)を設定しま す。					
	デバイスの状態をチェックする周期(ms)を設定します。 0 ~ 86400000(24時間)の範囲で設定できます。 常時チェックする場合は、[常時]をチェックします。					
ナエック周期	MEMO • 1 つの参加局で、チェック周期を [ 常時 ] に設定している起動条件が多 い場合、システム全体のパフォーマンスが低下するおそれがあります。					
詳細設定	「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法を設定します。 詳細については「「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。					

デバイス OFF 時

指定したシンボルのデバイスが ON から OFF になったときに実行します。 実行する期間やチェック周期を設定することもできます。

条件1						
起動条件を指定してください。						
1 電源投入時	デバイスON中	条件式成立中				
(i) 指定時刻	デバイスOFF中	条件式成立時				
● 一定周期	デバイスON時	🔠 相手局電源投入時				
🔯 デバイス変化時	デバイスOFF時	賭 相手局電源切断時				
機器名 #INTERNAL ■ 「 処理後、指定デバイスアドレスをONにする。 デバイスアドレス ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■						
□ 期間限定 □ = 時 □ = 分~ □	0	チェック周期 「 常時 500 <u></u> ms				
	詳細設定	OK キャンセル				

設定項目	設定内容
機器名	対象となるデバイスを持つ機器名を選択します。
	対象となるデバイスアドレスまたはシンボルを設定します。 ・ デバイスアドレスを指定する場合 電卓アイコンから直接入力します。
デバイスアドレス	電卓アイコン () () () () () () () () () ()
	<ul> <li>シンボルを指定する場合</li> <li>リストボタンをクリックしてシンボルを選択します。</li> </ul>
	リストボタン

設定項目	設定内容				
データタイプ	<ul> <li>デバイスアドレス指定時 データタイプを指定します。</li> <li>データタイプを指定します。</li> <li>末選択に戻す         <ul> <li>16ビット(符号付き) 32ビット(符号付き) ビット</li> <li>16ビット(符号無し) 32ビット(符号無し) 単精度浮動小数点</li> <li>16ビット(16進) 32ビット(16進) 倍精度浮動小数点</li> <li>16ビット(16) 32ビット(16) 文字列</li> </ul> </li> </ul>				
	<ul> <li>シンボル指定時</li> <li>データタイプが自動的に表示されます。</li> </ul>				
処理後、指定デバイス アドレスを ON にす る。	処理終了後、対象となるデバイスまたはシンボルを ON にする場合に チェックします。				
期間限定	実行期間を限定する場合にチェックし、実行期間(時/分)を設定しま す。				
	デバイスの状態をチェックする周期(ms)を設定します。 0 ~ 86400000(24時間)の範囲で設定できます。 常時チェックする場合は、[常時]をチェックします。				
チェック周期	MEMO • 1 つの参加局で、チェック周期を [常時]に設定している起動条件が多 い場合、システム全体のパフォーマンスが低下するおそれがあります。				
詳細設定	「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法を設 定します。 詳細については「「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。				

条件式成立中(GP シリーズ局以外の場合のみ)

2 個のデバイス間で、設定した条件式が成立(例:デバイス A とデバイス B のデータが同じ値)中に 実行します。

実行する期間やチェック周期を設定することもできます。

条件1 起動条件を打	皆定してください。			
æ	電源投入時		デバイスON中	条件式成立中
Ö	指定時刻	1	デバイスOFF中	条件式成立時
۲	一定周期		デバイスON時	🔠 相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	用手局電源切断時
条件式 機器名 #INTERNA デバイスアド エ データタイプ	L レス [16ビット(符号付き)	<b>•</b>	機器名 ■INTERN = _ デバイスア ■ □ 定数	iAL マ ドレス
□ 期間限3 □ <u>;</u> 時	Ê ∽	時	分	チェック周期 「 常時 500 <u></u> ms
				СК ++>tz1/

	設定項目	設定内容
	機器名	対象となるデバイスを持つ機器名を選択します。
		対象となるデバイスアドレスまたはシンボルを設定します。 • デバイスアドレスを指定する場合 電卓アイコンから直接入力します。
条件式	デバイスアドレス	電卓アイコン () () () () () () () () () ()
		<ul> <li>シンボルを指定する場合</li> <li>リストボタンをクリックしてシンボルを選択します。</li> </ul>
		リストボタン

	設定項目	設定内容				
		・デバイスアドレス指定時 データタイプを指定します。				
	データタイプ	データタイプ     ▼       未選択に戻す        16ピット(符号付き)     32ピット(符号付き)       ビット     32ピット(符号無し)       16ピット(符号無し)     32ピット(符号無し)       単精度浮動小数点       16ピット(16進)     32ピット(16進)       16ピット(16)     第4       16ピット(16)     第4       16ピット(16)     第4				
条件式		・シンボル指定時 データタイプが自動的に表示されます。				
		MEMO • データタイプが「文字列」の場合、比較対象の文字列は 1 文字で す。				
	定数	条件に定数を設定する場合にチェックし、定数値を設定します。				
	式記号	」 設定する条件式の記号を選択します。 「 = 」「 < = 」「 > = 」「 < 」「 > 」「 < > 」のいずれかから選択で   きます。				
期間限定		実行期間を限定する場合にチェックし、実行期間(時/分)を設定し ます。				
チェック周期		デバイスの状態をチェックする周期(ms)を設定します。 0 ~ 86400000(24時間)の範囲で設定できます。 常時チェックする場合は、[常時]をチェックします。				
		MEMO  • 1 つの参加局で、チェック周期を [常時]に設定している起動条件 が多い場合、システム全体のパフォーマンスが低下するおそれがあ ります。				
詳細設定		「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法 を設定します。 詳細については「 「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。				

条件式成立時(GPシリーズ局以外の場合のみ) 2個のデバイス間で、設定した条件式が成立したときに実行します。 実行する期間やチェック周期を設定することもできます。

条件1			
起動条件を指定してください。			
15 電源投入時		デバイスON中	条件式成立中
指定時刻	<b>1</b>	デバイスOFF中	条件式成立時
🕒 一定周期		デバイスON時	🔠 相手局電源投入時
デバイス変化時		デバイスOFF時	🛃 相手局電源切断時
条件式 機器名 #INTERNAL デバイスアドレス	•	機器名   和NTERN   デバイスア	AL 🔽
■ データタイプ 16ビット(符号付き)	<b>•</b>		<b>_</b>
□ 期間限定 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	0 🕂 時	分	チェック周期 「 常時 500 <u></u> ms
		詳細設定	OK キャンセル

設定項目		設定内容
	機器名	対象となるデバイスを持つ機器名を選択します。
		対象となるデバイスアドレスまたはシンボルを設定します。 • デバイスアドレスを指定する場合
		電卓アイコンから直接入力します。
		電早 Y イ コン
条件式	デバイスアドレス	
		<ul> <li>シンボルを指定する場合</li> <li>リストボタンをクリックしてシンボルを選択します。</li> </ul>
		リストボタン

	設定項目	設定内容					
		• デバイスアドレス指定時 データタイプを指定します。					
	データタイプ	データタイプ     ×       未選択(ご戻す     16ビット(符号付ぎ)     32ビット(符号付ぎ)     ビット       16ビット(符号無し)     32ビット(符号無し)     単精度浮動小数点       16ビット(16進)     32ビット(16進)     倍精度浮動小数点       16ビット(BCD)     32ビット(BCD)     文字列					
条件式		<ul> <li>シンボル指定時</li> <li>データタイプが自動的に表示されます。</li> </ul>					
		<ul> <li>         ・データタイプが「文字列」の場合、比較対象の文字列は1文字です。     </li> </ul>					
	定数	条件に定数を設定する場合にチェックし、定数値を設定します。					
	式記号	設定する条件式の記号を選択します。 「=」「<=」「>=」「<」「>」「<>」のいずれかから選択で きます。					
期間限定	2	実行期間を限定する場合にチェックし、実行期間(時/分)を設定し ます。					
チェック周期		デバイスの状態をチェックする周期(ms)を設定します。 0 ~ 86400000(24時間)の範囲で設定できます。 常時チェックする場合は、[常時]をチェックします。					
		MEMO • 1 つの参加局で、チェック周期を [常時]に設定している起動条件 が多い場合、システム全体のパフォーマンスが低下するおそれがあ ります。					
詳細設定		「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法 を設定します。 詳細については「 「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。					

## 相手局電源投入時(GP シリーズ局以外の場合のみ)

指定した相手局の電源が OFF から ON されたとき、一度だけ実行します。

МЕМО	•	相手局の電源が OFF から ON されたとき、	タイムラグが発生して動作が一瞬遅れる場合
-		があります。	

een <del>a</del> t	電源扱入時		デバイ20N中	冬件式成立中
<u>(1)</u>	地方成大时		デバイ20FE由	条件式成立時
<u> </u>			デバイスON時	相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	 相手局電源切断時
参加	a PC1	•		

設定項目	設定内容
参加局	対象となる参加局を選択します。
期間限定	実行期間を限定する場合にチェックし、実行期間(時/分)を設定しま す。
チェック周期	相手局の電源状態をチェックする周期(ms)を設定します。 0 ~ 86400000(24時間)の範囲で設定できます。 常時チェックする場合は、[常時]をチェックします。 MEMO • 1 つの参加局で、チェック周期を[常時]に設定している起動条件が多 い場合、システム全体のパフォーマンスが低下するおそれがあります
詳細設定	「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法を設定します。 詳細については「「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。

### 相手局電源切断時(GP シリーズ局以外の場合のみ)

指定した相手局の電源が ON から OFF されたとき、一度だけ実行します。

МЕМО	•	相手局の電源が ON から OFF されたとき、	タイムラグが発生して動作が一瞬遅れる場合
	•	があります。	

	指定してください。	 		
15	電源投入時	デバイスON中	<u> </u>	条件式成立中
Ġ	指定時刻	デバイスOFF中		条件式成立時
0	一定周期	デバイスON時	<b>.</b>	相手局電源投入時
	デバイス変化時	デバイスOFF時		相手局電源切断時

設定項目	設定内容
参加局	対象となる参加局を選択します。
期間限定	実行期間を限定する場合にチェックし、実行期間(時/分)を設定しま す。
	相手局の電源状態をチェックする周期(ms)を設定します。 0 ~ 86400000(24時間)の範囲で設定できます。 常時チェックする場合は、[常時]をチェックします。
チェック周期	MEMO • 1 つの参加局で、チェック周期を [常時]に設定している起動条件が多 い場合、システム全体のパフォーマンスが低下するおそれがあります。
詳細設定	「起動条件詳細設定」画面が表示されます。処理完了通知や通信方法を設 定します。 詳細については「 「起動条件詳細設定」画面」をご覧ください。

「起動条件詳細設定」画面

起動条件の成立によって実行された結果の処理や、処理を行う場合の通信方法を設定します。 設定は、起動条件ごとに個別に行えます。

起動条件詳細設定		×
┌─完了通知 ─────		
起動条件が成立し指定されたアクション	。 /やデータ転送の処理結果が必要な場合、そのi	●知先を指定してください。
処理が完了した事を示すビット	機器名 <b>XINTERNAL I 正</b>	ل التعام الت
	<ul> <li>1をセット</li> <li>0をセット</li> </ul>	記動条件リセット後、自動リセットする。
処理結果の成否を示すビット	機器名 #INTERNAL	▼ ビット
エラーコード格納先	機器名 #INTERNAL ▼ 再	
用始生现习惯于可找纳生		
共市元ドアトレス格的元		32ピット
通信方法		
○ 一斉同報通信	◎ 個別地通信	
リトライタイムアウト設定		
☑ レスポンスチェック	リトライ回数	2
信頼性よりもパフォーマンスを	優先する場合は、レスポンスチェックなしに設定し	てください。
☑ ネットワーク設定のデ	ーク転送タイムアウトを利用する。	
	データ転送タイムアウト時間 2000	0 <u>→</u> ms
この設定は、通信方法が"一斉同報" それ以外の場合は、ネットワーク設定( ください。	'である場合、もしくはGP局ど通信する場合のみ こある" Pro-Server EX/GP3000シリーズ/WinG	有効です。 P/LT3000局用設定"で設定をおこなって
		OK

	設定項目	設定内容
完了通知		データ転送やアクションが完了した場合、指定したデバイスに 「0」または「1」をセットします。 機器名、デバイスまたはシンボルを設定し、[1をセット]また は[0をセット]のいずれかをチェックします。
	処理が完了した事を 示すビット	GP ①起動条件が成立 ⑤処理が完了したことを 示すビット
		<ul> <li>MEMO</li> <li>この設定は、起動条件 1、2 のどちらかに [ デバイス ON 時 ] または [ デバイス OFF 時 ] が含まれ、かつ、[ 処理後、指定シ ンボルを OFF ( または ON ) にする ] がチェックされていない 場合のみ有効となります。</li> <li>グループシンボルを設定することはできません。 グループシンボルの詳細については、「29.3 シンボルのグ ループ化」をご覧ください。</li> </ul>
	起動条件リセット 後、自動リセットす る	<ul> <li>起動条件がリセットされたとき、処理が完了したことを示すデバイスをリセットする場合にチェックします。</li> <li>MEMO</li> <li>この設定は、起動条件が[デバイス ON 時]で、[処理後、指定シンボルを OFF にする]がチェックされていない場合、または[デバイス OFF 時]で、[処理後、指定シンボルを ON にする]がチェックされていない場合のみ有効となります。</li> </ul>
	処理結果の成否を示 すビット	<ul> <li>処理の結果をデバイスに示す場合に設定します。</li> <li>機器名、デバイスまたはシンボルを設定します。</li> <li>処理の結果が正常ならば「0」、異常ならば「1」がセットされます。</li> <li>MEMO</li> <li>データタイプが「Bit」のデバイス(またはシンボル)のみ設定できます。グループシンボルを設定することはできません。</li> <li>シンボルを設定した場合も、データタイプ1個分で処理を行います。</li> </ul>
	エラーコード格納先	<ul> <li>処理の結果が異常の場合、ネットワーク関連のエラーコードを デバイスに格納する場合に設定します。</li> <li>MEMO</li> <li>データタイプが「16 ビット」または「32 ビット」のデバイス (シンボル)のみ設定できます。グループシンボルを設定する ことはできません。</li> <li>シンボルを設定した場合も、データタイプ1個分で処理を行 います。</li> <li>『GP-Pro EX』からインポートしたシンボルを利用する場合、 シンボル名をテキストボックスに直接入力してください。</li> </ul>

設定項目		設定内容
完了通知	異常先 IP アドレス 格納先	<ul> <li>処理の結果が異常の場合、処理エラーが発生した処理先の IP アドレスをデバイスに格納する場合に設定します。</li> <li>MEMO</li> <li>データタイプが「32 ビット」のデバイス(シンボル)のみ設定できます。グループシンボルを設定することはできません。</li> <li>シンボルを設定した場合も、データタイプ1個分で処理を行います。</li> <li>『GP-Pro EX』からインポートしたシンボルを利用する場合、シンボル名をテキストボックスに直接入力してください。</li> </ul>
通信方法	一斉同報通信 / 個別 通信	一斉同報(ブロードキャスト)でデータ転送やアクションの データを転送するか、個別に転送を行うかを選択します。
	レスポンスチェック	相手局へ送信後、相手局からの応答を確認したい場合にチェックします。 その場合、[リトライ回数]に、レスポンスチェックのリトライ 回数を設定します。 MEMO ・この設定については、GP シリーズ局との通信および一斉同報 通信を行う場合に有効となります。それ以外の場合は、「ネッ トワークの設定」画面の「Pro-Server EX / GP3000 / WinGP / LT3000 局用設定」で設定したリトライ回数が適用されます。
	ネットワーク設定の データ転送タイムア ウトを利用する。	<ul> <li>「ネットワークの設定」画面で設定されているタイムアウト時間を使用する場合にチェックします。</li> <li>使用しない場合は、[データ転送タイムアウト時間]にタイムアウト時間(ms)を設定すると、ここで設定したタイムアウト時間が適用されます。</li> <li>MEMO</li> <li>この設定については、GPシリーズ局との通信および一斉同報通信を行う場合に有効となります。それ以外の場合は、「ネットワークの設定」画面の「Pro-Server EX/GP3000/WinGP/LT3000局用設定」で設定したリトライ回数が適用されます。</li> </ul>

2つの起動条件を組み合わせる場合

起動条件を設定する場合、最大2つの起動条件を「かつ」(and 条件) / 「または」(or 条件)の組み 合わせで設定することができます。

起動条件を1つ設定したあと、[起動条件]のリストボタンをクリックし、[かつ]あるいは[または]を選択したあと、[条件2]タブで2つ目の起動条件を設定します。

					×
起動条件名	Trigger1				
局名	PC1		🗾 📑 参加局。	の追加	▶ 参加局の検索
かつ まだは	k				
起動条件を指う	定してください。				
35	電源投入時		デバイスON中	N	条件式成立中
Ġ	指定時刻	<b>1</b>	デバイスOFF中		条件式成立時

起動条件を設定した場合の動作タイミングについて

起動条件に「デバイス ON 時」、「デバイス OFF 時」を使用し、以下の4種類の完了条件を設定した場合のそれぞれのタイミングチャート例を以下に示します。

<例1:「デバイス ON 時」もしくは「デバイス OFF 時」を以下のように設定している場合>

デバイス ON 時	処理後、指定デバイスアドレスを OFF にする。	チェックあり
デバイス OFF 時	処理後、指定デバイスアドレスを ON にする。	チェックあり



< 例 2:「デバイス ON 時」もしくは「デバイス OFF 時」を以下のように設定している場合>

デバイス ON 時	処理後、指定デバイスアドレスを OFF にする。	チェックなし
デバイス OFF 時	処理後、指定デバイスアドレスを ON にする。	チェックなし



< 例 3:「デバイス ON 時」もしくは「デバイス OFF 時」を以下のように設定している場合>

デバイフ ON 時	処理が完了したことを示すビットの設定	あり
) ハイス ON 時	起動条件リセット後、自動リセットする	チェックなし
デバイフ ОББ 時	処理が完了したことを示すビットの設定	あり
ノハイス OFF 時	起動条件リセット後、自動リセットする	チェックなし

下図では、処理が完了した事を示すビットを"処理完了ビット"としています。



<例4「デバイス ON 時」もしくは「デバイス OFF 時」を以下のように設定している場合>

デバイフ ON 時	処理が完了したことを示すビットの設定	あり
	起動条件リセット後、自動リセットする	チェックあり
デバイフ OFF 時	処理が完了したことを示すビットの設定	あり
	起動条件リセット後、自動リセットする	チェックあり

下図では、処理が完了した事を示すビットを"処理完了ビット"としています。



起動条件デバイス、[処理が完了した事を示すビット]と、[処理結果の成否を示すビット][エラー コード格納先][異常先 IP アドレス格納先]および後述する受信通知デバイスのセットされるタイ ミングをまとめると、以下のようになります。

下図では、処理が完了した事を示すビットを"処理完了ビット"としています。



#### 33.1.2 アクションが受け取るデータとは?

• ここで説明する内容は、アクションを行う場合の設定です。 MEMO データ転送を行う場合、この設定は行いません。

起動条件が有効になった場合、ここで指定するデバイスデータや定数値を転送元局からアクション動 作局(通常はパソコン)へ転送します。

アクション動作局は、このデータを受け取り、各種アプリケーションソフトで表示させたり、データ を管理させたりします。

アクションデータの設定は、「アクションが受け取るデータの設定」画面で行います。

アクションが受け取るデータの設定
アクションの種類 CSVファイルヘデータを書き込む
アクション名 Action1
デバイスデータ
をデータとして受け取り動作します。データ値には起動局のデバイス値か定数 を利用できます。データを指定してください。
転送元
参加局
PC1 ##理想之
IIX662-CD #INTERNAL ▼
○ 〒バイフアドレフ
」 データタイプ [16ビット(符号付き) 個数 1111
<b>戻る</b> 次へ キャンセル

#### MEMO ・ アクションによっては、ここで設定するデータを、起動を知らせる目的で使用するもの があります。その場合も、任意のシンボルもしくは定数値を指定してください。 該当する章の設定手順では定数値「1」を指定しています。

設定項目	設定内容
アクションの種類	「アクション名 / パラメータの設定」画面で選択したアクションの種類が表示されます。
アクション名	「アクション名 / パラメータの設定」画面で設定したアクション名が 表示されます。
引数	アクション動作時に、転送元より受け取る引数名が表示されます。

設定項目		設定内容
	参加局	起動条件設定画面で設定した局名が表示されます。
	機器名	アクションデータの転送元となる接続機器を選択します。
転送元	機器名	<ul> <li>デバイスをアクションデータの転送元とする場合にクリックし、デバイスアドレス(またはシンボル)を設定します。</li> <li>・デバイスアドレスを指定する場合 電卓アイコン</li> <li>・ ジンボルを指定する場合 リストボタンをクリックしてシンボルを選択します。</li> </ul>
		<ul> <li>MEMO</li> <li>● 次項目の[定数値]を設定している場合、この項目は設定できません。</li> </ul>
	定数値	アクションデータとして定数値を設定する場合にクリックし、定数 を入力します。 MEMO ・前項目の[デバイスアドレス]を設定している場合、この項目は 設定できません。
	データタイプ	転送元としてデバイスを設定した場合、そのデバイスのデータタイ プが自動的に表示されます。
	個数	転送元としてデバイスを設定した場合、そのデバイスの個数を設定 します。

33.1.3 動作局とは?

• ここで説明する内容は、アクションを行う場合の設定です。 MEMO データ転送を行う場合、この設定は行いません。

アクションが動作する参加局を「動作局」と呼びます。

通常、アクションは Excel などのアプリケーションソフトを利用するので、パソコン (Pro-Server EX 局)を動作局として設定します。

複数のパソコンを参加局として設定している場合、どの局を動作局とするかを「アクション動作局/ 処理完了通知設定」画面で選択します。

また、この画面では、アクションの実行の通知有無も同時に設定します。

アクション動作局/処理完了通知設定 区
アクションの種類 CSVファイルヘデータを書き込む
アクション名 Action1
実際にアクションが動作する動作局(Pro-Server EX)を指定してください。
□ 受信通知あり
アクションの実行をしらせるデバイスを指定してください。 アクション実行後、Opliate
7773776118, 010870
機器名
#INTERNAL
通知先デバイス
データタイプ
戻る完了キャンセル

設定項目		設定内容
アクションの種類		「アクション名 / パラメータの設定」画面で選択したアクションの種類が 表示されます。
アクション名		「アクション名/パラメータの設定」画面で設定したアクション名が表示 されます。
	参加局	アクションの動作局となる参加局名を選択します。
動作局	受信通知あり	アクションの実行が終了したときに通知を行う場合にチェックします。
	機器名	アクション実行の通知先となるデバイスを持つ機器名を選択します。

	設定項目	設定内容
動作局	通知先デバイス	アクション実行の通知先となるデバイスアドレス(またはシンボル)を 設定します。 ・ デバイスアドレスを指定する場合 電卓アイコンから直接入力します。 ・ シンボルを指定する場合 リストボタンをクリックしてシンボルを選択します。 リストボタン
	データタイプ	アクション実行の通知先となるデバイスのデータタイプが自動的に表示 されます。

## 33.2 起動条件の内容を編集するには

すでに設定されている起動条件の内容を編集します。

1「アクション別の起動条件/処理一覧」画面で、編集したい起動条件を選択し、[編集]ボタンをク リックします。



起動条件設定画面が表示されます。

						×
起動条件名	Trigger1				1	
局名	AGP1		▼ 📑 参加局	の追加	💁 参加局の検索	
	,					-
参加局AGP1の_[	00040_WORDがON(2	なったとき	KERNIKIT			1
					-	]
						ן כ
条件1						
起動条件を指決	定してください。					
5	電源投入時		デバイスON中		条件式成立中	
Ġ	指定時刻		デバイスOFF中		条件式成立時	
0	一定周期		デバイスON時		相手局電源投入時	
	デバイス変化時		デバイスOFF時	*	相手局電源切断時	
機器名						
PLC1		-	□ 処理後、指定デバイス	マンドレスをの	FFにする。	
デバイスアドレス	ξ					
_D0040_W	ORD	•				
データタイプ	16ビット(符号付き)					
	•					
	╡ ┍┅ <u>⋺</u> 労∼ ┍	0 <u>÷</u> 時	分	チェック) 50	問期   常時 0 <del>注</del> ms	
			詳細設定	0	K キャンセル	

2 内容を編集し、[OK]ボタンをクリックします。

機器名
PLC1  型  型  型  型  型  型  型  型  型  型  型  型  型
รีที่สุวทรับว
D0040_WORD
データタイプ 16ビット(符号付き)
□ 期間限定 チェック周期 □ 常時
□ = 時 □ = 分~ □ = 時 □ = 分 100 = ms

MEMO ・ 起動条件の編集は、「起動条件別シーケンス図」画面の [ 編集 ] ボタンからも行うこと ができます。

<sup>②デ</sup>「33.4.3 設定ガイド」

## 33.3 起動条件を削除するには

すでに設定されている起動条件の内容を削除します。

1「アクション別の起動条件/処理一覧」画面で、削除したい起動条件を選択し、[削除]ボタンをク リックします。



「\*\*\*を削除します。よろしいですか?」(\*\*\*は起動条件名)というメッセージが表示されます。

起動条件	の削除 🛛 🔀
2	Trigger1を削除します。 よろしいですか?
(II)	ハンズ(N)     ハ

2[はい]ボタンをクリックします。



選択した起動条件が削除されます。

# 33.4 1 つの起動条件で複数のデータ転送 / アクションを順次実行 させたい!

1つの起動条件に複数のデータ転送 / アクションを登録し、それを順次実行させることができます。 設定は、1つ目のデータ転送 / アクションを登録し、2つ目のデータ転送 / アクションの追加登録時 に同じ起動条件を割り当てる形で行います。

33.4.1 1つの起動条件に複数のデータ転送 / アクションを登録するには

設定例

接続機器 PLC1 のデバイス (ビットデバイス:アドレス「M01」)の立ち上がりを検出し、

接続機器 PLC2 のデバイス (ワードデバイス:アドレス「DM50」~「DM54」)の値を収集し、接 続機器 PLC1 のデバイス (ワードデバイス:アドレス「D50」~「D54」へ書き込む (データ転送)

転送された接続機器(PLC1)のデバイスの値(ワードデバイス:アドレス「D50」~「D54」)を、 CSV ファイルに書き込む(アクション)



【 の内容 (データ転送)】

設定項目		設定内容		
データ転送タイプ		収集型		
データ転送名		データ転送		
起動条件名		動作開始ビットを ON する		
起動条件		「動作開始」(M01) ON 時		
	参加局	AGP2		
転送元	機器名	PLC2		
	デバイス	PLC2 のシンボル「転送元」(DM50 ~ DM54)		
	参加局	AGP1		
転送先	機器名	PLC1		
	デバイス	PLC1 のシンボル「転送先」(D50 ~ D54)		

【 の内容 (アクション)】

設定項目	設定内容	
アクション名	CSV アップロード	
起動条件名	動作開始ビットを ON する	
起動条件	「動作開始」(M01) ON 時	
転送先の機器名	PLC1	
転送先のデバイス	PLC1 のシンボル「PLC1 データ」(D50 ~ D54)	
動作局	PC1	
受信通知	なし	

1 まず、起動条件「動作開始ビットを ON する」に対し、の内容 (データ転送)を登録します。

データ転送(収集型)	X
データ転送名 データ転送	起動条件
転送元の追加	新しい近朝条件 動作開始ビットをONする ▼ 編集
転送元の編集	参加局 AGP1 参加局 AGP1 の動作開始 がONになったとき
	受信通知設定
参加局機器名     デバイス     データタイプ 個数       AGP2.PLC2     転送元     16ビット(符 5	参加局機器名 デバイス データタイプ → AGP1.PLC1 転送先 16ビット(符号
	完了 キャンセル

MEMO	•	データ転送の設定のしかたについては、「第19章	機器間でデータをやり取りした
		い!」をご覧ください。	

2[完了]ボタンをクリックします。

肖明涂			受信通知設定
参加局、機器名 AGP2.PLC2 転送元	データタイプ 個数 16ビット(符 5	参加局、機器名 デバイス AGP1.PLC1 転送先	、 データタイプ : 16ビット(符号
			完了 キャンセル

3 画面左のツリー表示から、「アクション」を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

Studio EX	003 ppy		
ファイル(E) 編集(E)	・ ツール( <u>T</u> ) プログ	<b>ラミン</b> :	グ補助(P) 設定(S
对 २४-२ 🔉	> 🔪 参加局	<b>&gt;&gt;</b>	≽ シンボル
追加良	インポート		
編集	削除		アクション
<ul> <li>▶ <b>アクション</b></li> <li>→ 起動条件</li> <li>■ ● 記動条件</li> <li>■ ● 新介作開</li> <li>● ● デーク棟武送</li> <li>■ ● デーク棟武送</li> <li>■ ● デバイスキャ</li> </ul>	始ビットをONする 云送 ッシュ		『Pro-Si り、Access 理をおこな: 『Pro-S 処理のこと

「アクション名/パラメータの設定」画面が表示されます。

アクション名/パラメータの設定 🛛
新想(アクションを追加します。
アクション名を指定し、パラメータを設定してください。
アクションの種類 EXCEL帳票
,
アクション名 Action1
ここをクリックしてアクションの パラメータを設定してください。

4 [ アクションの種類 ] のリストボタンをクリックし、 の内容「CSV ファイルヘデータを書き込む」 (アクション)を選択します。

続いて、[アクション名]に設定するアクション名「CSV アップロード」を入力し、[ここをクリック してアクションのパラメータを設定してください。]ボタンをクリックします。

アクション名/パラメータの設定
新規にアクションを追加します。 アクション名を指定し、パラメータを設定してください。
アクションの種類 CSVファイルヘデータを書き込む
 □ 旧バージョンのPro-Serverのアクションを表示する
アクション名 CSVアップロード
ここをクリックしてアクションの パラメータを設定してください。
次へ、キャンセル

5「CSV アップロード」アクションのパラメータ設定を行ったあと、[OK]ボタンをクリックし、「アクション名 / パラメータの設定」画面で、[次へ]ボタンをクリックします。





6 [ 起動条件 ] のリストボタンをクリックして、割り当てる起動条件「動作開始ビットを ON する」を 選択し、[ 次へ ] ボタンをクリックします。



7「CSV アップロード」のアクションデータを設定したあと、[次へ]ボタンをクリックします。

アクションが受け取るデータの設定
アクションの種類 CSVファイルヘデータを書き込む
アクション名CSVアップロード
このアクションは起動局から
デバイスデータ
をデータとして受け取り動作します。データ値には起動局のデバイス値か定数 を利用できます。データを指定してください。
_ 転送元
参加局
AGP1 - 総理-名
PLC1
• <u>—</u> • <del>7</del> ]ИДЛРКИД
■ 販送先
データタイプ 16ビット(符号付き) 個数 5

8 追加する起動条件の動作局および処理完了通知を設定したあと、[完了]ボタンをクリックします。

アクション動作局/処理完了通知設定
アクションの種類 CSVファイルヘデータを書き込む
アクション名CSVアップロード
実際にアクションが動作する動作局(Pro-Server EX)を指定してください。
PC1
□ 受信通知本的
アクションの実行をしらせるデバイスを指定してください。
アクション実行後、Onします。
<b>继</b> 宪
#INTERNAL
通知先デバイス
デーカカイウ <b>ドット</b>

以上で、1つの起動条件に1つのデータ転送と1つのアクションが割り当てられました。

9 画面左のリストから、データ転送 / アクションを割り当てた起動条件名をクリックします。

饕 Pro-Studio EX	003.npx
ファイル(E) 編集(E	) <u>ツール(T)</u> プログラ≋
对 ۲۵-۴ 🏹	
追加	インポート
編集	削除
 	ップロード <b>はビットをONする</b> 気送 ヤッシュ

設定したデータ転送 / アクションが、「起動条件別シーケンス図」画面に表示されています。

					_ D ×
>>ンク補助(P) 設定(S) ヘルフ(D)	» 📑	保存 🔉		ti t	长况監視
起動条件		起重	臊	件別シー	ケンス図
		縮小表示	R.	P	クション/データ転送
	機能名	元 AGP2.P	->	先 AGP1.P	受信/処理完了通知
参加局AGP1の動作開始がON	CSV <i>P</i> 97	AGP1.P	->	PC1.CS	
<u>Р</u> РГИД					

MEMO ・ さらに新規のデータ転送 / アクションを登録する場合は、上記の手順を繰り返します。

#### 33.4.2 データ転送 / アクションの実行順序を変更するには

複数設定したデータ転送 / アクションの実行順序を変更することができます。

1「起動条件別シーケンス図」画面で、実行順序を変更したいデータ転送 / アクション名をクリックします。

** Pro-Studio EX 003.npx     フライル(と) 編集(と) ツール(て) プログラミング雑曲(の) 設定(ミ) ヘルプ(ロ)	
	機能 >> 📄 保存 >> 🏡 転送
18カ0 インボート     「温葉 単原余 単原余 単原余 単原余 単原余 単原余 単原余 単原余 単原余 単一条 こらVアップロード     ロー・ えこめふけ4	

- 2[]または[]ボタンをクリックします。
  - []ボタン:実行順序が1つ上へ繰り上がります。
  - []ボタン:実行順序が1つ下へ繰り下がります。

ラミング補助(P) 設定(5) ヘルプ(H)					
>> /> シンボル >>  被能	» 🔒	保存 ン		<b>)</b> 転送	大況監視
起動条件		起動	操	牛別シー	ケンス図
		縮小表示	:	7 <sup>7</sup>	クション/データ転送
●動作開始ビー──編集	機能名	元		先	受信/処理完了通知
参加局[4691	データ転送	AGP2.P	->	AGP1.P	
	<u>JCSV//y/</u>	AGPT.P	->	PC1.05	
参加局AGP1の動作開始がON					
処理完了					
	1				

#### 33.4.3 設定ガイド

この節では、「起動条件別シーケンス図」の内容について説明します。

🎨 Pro-Studio EX 003.npx					_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) ツール(I) ブロ:	ブラミング補助(P) 設定(5) ヘルブ(H)				
💋 スタート 🌺 🟹 参加局	- シンボル >> 襓 機能	» 🔒	保存 ン 붳	軟送	大況監視
追加インボート	起動条件		起動条例	牛別シーケンス	X义
編集 削除			縮小表示	アクション	ノ/データ転送
		機能名	元	先 受信	/処理完了通知
	参加局 AGP1	<u>ア 一分単広さ</u> CSVアップ	AGP2.P> AGP1.P>	PC1.CS	
□ ▼ 起動条件	参加局AGP1の動作開始がON				
● 「一番」 動作開始ビットをONする					
🖓 データ転送					
└─ ▶ デバイスキャッシュ					
	処理完了				
	処理結果            エラーコード	1			
	ΙΡアドレス				

設定項目		設定内容				
起動条件表示	起動条件名	起動条件名が表示されます。 起動条件を変更する場合は、リストボタンをクリックして選択しま す。				
	編集	表示されている起動条件の内容を編集します。 起動条件設定画面が表示されますので、設定した内容を編集します。				
	参加局	起動条件となるデバイス(またはシンボル)を持つ参加局名が表示 されます。				
	起動条件	起動条件の内容が表示されます。				
シーケンフの	/	指定したアクションの実行順序を1つ繰り上げ(繰り下げ)ます。				
	縮小表示 / 展開表示	アクションの表示形式を変更します。 ・ 縮小表示 [機能名]のみの表示になります。 ・ 展開表示 アクションの処理内容の詳細がすべて表示されます。				
	機能名	アクション名が表示されます。				
	元	データの転送元の参加局名、機器名、転送元デバイスが表示されま す。				
	先	データの転送先の参加局名、機器名、転送先デバイスが表示されま す。				

設定項目		設定内容
シーケンス図	受信 / 処理完了通知	受信通知および処理完了通知を行う参加局名、機器名、デバイスが 表示されます。
	処理完了	処理完了通知を行うデバイスが表示されます。
処理結果	処理結果	処理結果通知を行うデバイスが表示されます。
	エラーコード	エラーが発生した場合、エラーコードを格納するデバイスが表示さ れます。
	IP アドレス	エラーが発生した場合、処理先の IP アドレスを格納するデバイスが 表示されます。

# 33.5 複数の起動条件でアクションを実行させたい!

設定したアクションの内容は、「アクション別の起動条件/処理一覧」画面に表示されます。 この画面は、既存のアクションの内容が表示されますが、1つのアクションを複数の起動条件で動作 させたい場合など、この画面から起動条件の追加を行います。 また、この画面から起動条件やアクションの設定内容の編集や削除も行えます。 この画面の詳細については、「33.5.2 設定ガイド」をご覧ください。

MEMO ・ データ転送については、複数の起動条件を設定することはできません。

#### 33.5.1 起動条件を追加するには

#### 設定例

「CSV ファイルヘデータを書き込む」アクションに登録されている起動条件「毎日 17 時」に、新しい 起動条件「書き込み開始ビットを ON する」を追加する



【設定済みの内容】

設定項目	設定内容
アクション名	CSV アップロード
起動条件名	毎日 17 時
起動条件	指定時刻 17:00
転送先の機器名	PLC1
転送先のデバイス	PLC1 のシンボル「PLC1 データ」(D50 ~ D54)
動作局	PC1
受信通知	なし

【追加で設定する内容】

設定項目	設定内容
起動条件名	書き込み開始ビットを ON する
起動条件	「書き込み開始」( M01 ) ON 時
転送先の機器名	PLC1
転送先のデバイス	PLC1 のシンボル「PLC1 データ」(D50 ~ D54)
動作局	PC1
受信通知	なし

1「アクション別の起動条件/処理一覧」画面で、[アクション別の起動条件/処理一覧]の[追加]ボ タンをクリックします。

🎲 Pro-Studio EX 🛛 003.npx		. 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E) ツール(I) プロ	びラミング補助(P) 設定(5) ヘルプ(H)	
💋 スタート 😕 🟹 参加局	局 >> 🍐 シンボル >> ≷ 機能 >> 📄 保存 >> 🖄 転送 🐼 🙀	況監視
道加     インボート       編集     肖順余       日・マクジョン     ○       日・マクジョン     ○       日・ブレクジョン     ○       日・ブレクジョン     ○       日・ブレクな送     ・       ・     デパイスキャッシュ	アウション日の起き動条件/処理一覧     アウションの削       道加<編集 解除     アウションの削       データ元局 AGP1:PLC1     CSVアップロード       起動条件     17時0分になったとき       処理完7:通知     アウションの削       (SVアァイルへデータを書き込む)     パラメーク設定       動作局     101	

2[新しい起動条件]ボタンをクリックします。

アクションの起動条件の設定         区           アクションの種類         CSVファイルヘデータを書き込む           アクション名         CSVアップロード
アクションの起動条件を指定してください。
問動条件 新しい起動条件
▲ 参加局

3[起動条件名]に、追加する起動条件名「書き込み開始ビットを ON する」を入力し、[局名]に 「AGP1」を選択します。

起動条件 局 条件1	名 書き込み開始ビット 名 PC1 PC1 AGP2	をONする		の追加	4	× 参加局の検索
	:指定してださい。 電源投入時 指定時刻 一定周期 デバイス変化時		デバイスON中 デバイスOFF中 デバイスON時 デバイスOFF時		条 条 相手局 相手局	件式成立中 件式成立時 電源投入時 電源切断時
			詳細設定		OK	**>\ZII

4 [条件 1] タブの [デバイス ON 時] ボタンをクリックして、機器名に「PLC1」、 トリガとなるデバイ スのシンボル名「書き込み開始」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

起動条件名 書き込み開始ビッ	小をONする				1
局名 AGP1		▼ 📑 参加局	ரை்திறை	🔒 参加局の検	索
,	±				
参加局AGP1の書き込み開始がON	<u>に</u> なったとき	말助했다			
<del>_</del>					-
条件1					
」 起動条件を指定してください。					
-	1	1			-
- 電源投入時		デバイスON中	<u> </u>	条件式成立中	Þ
() 指定時刻		デバイスOFF中	1	条件式成立时	ŧ
		≓U/20NB5		相手局電循投入服	
		1141X01004		183-700 88/05/20/20	4
デバイス変化時		デバイスOFF時	影	相手局電源切断時	<u>†</u>
機篩名					
PLC1	<u> </u>	処理後、指定デバイス	<アドレスをOI	FFにする。	
テノバイスアトレス まち込み皆婚					
7-9917 <u>JC91</u>	_				
				E100 - 344a+	
	0.104	0.14	チェックル	司期   常時	
	□ <u> </u>	v <u>→</u> 7	1 00	u⊡ ms	
		E¥&mEA 📥		طريبية ال	
			_(	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	NV .

5「アクションの起動条件の設定」画面で、[次へ]ボタンをクリックします。

アクションの起動条件の設定
アクションの種類 CSVファイルヘデータを書き込む
アクション名CSVアップロード
アクションの起動条件を指定してください。
起動条件
新しい起動条件
書き込み開始ビットをONする
参加局 AGP1
参加局 AGP1 の書き込み開始がONになったとき
ホヘ しょう キャンセル

6 [機器名]のリストボタンをクリックし、データを読み出す接続機器「PLC1」を選択します。

アクションが受け取るデータの設定
アクションの種類 CSVファイルヘデータを書き込む
アクション名CSVアップロード
デバイスデータ
をデータとして受け取り動作します。データ値には起動局のデバイス値か定数 を利用できます。データを指定してください。
転送元
参加局
AGP1 继熙在
INSEE-CE #INTERNAL ▼
#INTERNAL
○ 定数値
データタイプ (16ビット(符号(打き) 個数 ) 二

7 [デバイスアドレス]をクリックしたあと、リストボタンをクリックし、データを読み出す接続機器 「PLC1」のシンボル名「PLC1 データ」を選択します。

*A.达/L 会加局		SVファイルヘデータを書き
AGP1		
機器名		パラメータ設定
		加作局
<ul> <li>デバイスアドレス</li> </ul>		21
		]-□一力ルSheet3
○ 定数値		PLC1データ 動作問い
		書き込み開始
データタイプ 16ビット(符号付き)	個数 1 🗄	

8[次へ]ボタンをクリックします。

C 定数値
データタイプ 16ビット(符号付き) 個数 1 🛨
戻る

9「アクション動作局/処理完了通知設定」画面で、[動作局]のリストボタンをクリックし、アクションが動作する局名「PC1」を選択します。

アクション動作局/処理完了通知設定
アクションの種類 CSVファイルヘデータを書き込む
アクション名CSVアップロード
実際にアクションが動作する動作局(Pro-Server EX)を指定してください。
_ 動作局
アクションの実行をしらせるデバイスを指定してください。
アリション夫171後、UNUより。
機器名
#INTERNAL
通知先デバイス
データタイプ ビット
戻る 完了 キャンセル

10 [受信通知あり]がチェックされている場合は、チェックを外します。

一動作局 ——	
PC1	<b>•</b>
「、受信通知 い アクション アクション	1あり ノの実行をしらせるデバイスを指定してください。 ノ実行後、Onします。
	機器名 #INTERNAL
	通知先デバイス
	データタイプ <mark>ビット</mark>

11 [ 完了 ] ボタンをクリックします。

	機器名
	#INTERNAL
	通知先デバイス
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	データタイプ ビット
戻る	<u> 完了 キャンセル</u>

12 画面左のリストから、起動条件を追加したアクション名をクリックします。

饕 Pro-Studio EX	003.npx		
ファイル(E) 編集(E	) <u>ツール(I)</u> プログラ:		
💋 ۲۵-۴			
追加	インポート		
編集	削除		
<ul> <li>P0/232</li> <li>▲ CSVP&gt;70-F</li> <li>● 起動条件</li> <li>● 書き込み開始とりたONす</li> <li>● 毎日178寺</li> <li>● デーク転送</li> <li>● デバイスキャッシュ</li> </ul>			

追加した起動条件が、「アクション別の起動条件/処理一覧」画面に表示されています。

アクション別の起動条件/処理一覧	「アクション ――
	アクションの削除
データ元局 AGP1 :PLC1	CSVアップロード
起動条件 17時0分になったとき データ	名前の変更
	CSVファイルヘデータを書き込む
	パラメータ設定
起動条件 参加局AGP1の書き込み開始がON(こ データ	● •••作局
	PC1

#### 33.5.2 設定ガイド

この節では、「アクション別の起動条件/処理一覧」の内容について説明します。

😵 Pro-Studio EX 🛛 003.npx 📃 🗖 🗶				
ファイル(E) 編集(E) ツール(I) プログラミング補助(P) 設定(S) ヘルプ(H)				
💋 スタート 😕 🐚 参加局	>> 🍌 シンボル >> ≷ 機能 >> 📄 保存 >> 🆄 転送	大況監視		
	アウションアIの起動条件/処理一覧     アウション       道加     編集       第7     今元局 AGP1:PLC1       起動条件     アーク       処理完7:通知     アーク       第7     6SV77/ルヘデーがあ       パラスータI     パラスータI	ションの用原金 三 名前の変更 書き込む 段定		

設定項目		設定内容
アクション別の 起動条件 / 処理 一覧	追加	「アクションの起動条件の設定」画面が表示されます。 以降の画面で、追加する起動条件を設定します。
	編集	「アクションの設定」画面が表示されます。 この画面で、起動条件の内容を編集します。
	削除	指定した起動条件を削除します。
起動条件表示	データ元局	アクションのデータ元局となる参加局名および機器名が表示されま す。
	起動条件	起動条件名および起動条件の内容が表示されます。
	データ	アクションデータの内容が表示されます。
	処理完了通知	処理完了通知を設定したデバイス(またはシンボル)が表示されま す。
アクション表示	アクションの削除	表示されているアクションを削除します。
	起動条件名	アクションを変更する場合、変更後のアクションを選択します。
	名前の変更	表示されているアクション名を変更します。 「アクション名の編集」画面で変更します。
	パラメータ設定	アクションのパラメータの内容を編集します。 アクションに対応したパラメータ設定画面が表示されますので、設 定内容を編集します。
	動作局	アクション動作局が表示されます。